

仕 様 書

- 1 購入物品名 消防吏員用冬服（新規採用者用）
- 2 購入数量 上衣 36着
ズボン 72本
冬帽 32個
※個人別のサイズ及び袖寸・股下の変更等は売渡人の行う出張採寸にて決定するものとする。
- 3 仕様について
「別紙1 消防吏員用冬服仕様書」及び「別紙2 消防吏員用冬帽仕様書」のとおり。
使用する材料、付属品等は全般にわたって十分検査をすること。
冬服用の生地については、契約後、速やかに製造元の原反出荷引受証明書を提出すること。
- 4 検査について
売渡人は、契約後速やかに冬服一式の生地について指定機関（一般財団法人カケンテストセンター）の検査（試験）証明書及び生地見本を購入所管課あてに提出すること。
なお、品質の検査項目は、混用率・番手・組織・質量・密度・引張強度・寸法変化率・伸長率・ピリング・染色堅牢度・摩擦帯電圧・撥水度・色相とし、色差の許容範囲は0.5（ $\Delta E00$ ）以内とする。この検査に要する経費はすべて売渡人の負担とする。
また、全数量の裁断、縫製にかかる前に完成見本品一式を購入所管課あてに提出し、承認を得た後、全数量の製作に着手すること。
製作期間中は必要に応じ購入所管課担当者が検査を行う。また、製品完成時には、購入所管課担当者の指示により検査を受けること。
検査の結果、手直しを要する場合には、売渡人の責任において速やかに対応すること。
- 5 納入期限 令和8年3月26日（木）
- 6 納入場所 静岡市駿河区南八幡町10番30号
静岡市消防局・駿河消防署 3階 財産管理課
- 7 納入方法 製品は個人ごとに紙袋又はポリエチレン製袋に入れ、個人明細リストを基に、表に所属・氏名・サイズを明記し、納入場所別にダンボール箱に入れて納入すること。納入の際は、納入予定日の1週間前までに購入所管課担当者へ電話にて連絡を取ること。
- 8 その他
 - （1）見積金額は、出張採寸、見本品作製、検査、その他納入に係る諸経費を全て含んだ金額とすること。
 - （2）売渡人は、契約後、速やかに購入所管課担当者へ連絡すること。
 - （3）売渡人は、購入所管課の指示に従い、出張して採寸すること。
 - （4）所属・氏名及び階級明細を記載した個人明細リストは、後日売渡人に通知する。
 - （5）本仕様書に定めていない事項については、その必要が生じたとき購入所管課担当者と協議の上実施すること。その他不明な点については、購入所管課担当者の指示を受けること。
- 9 購入所管課 消防局財産管理課 企画係 担当 石村・海野 電話 054-280-0134

別紙 1 消防吏員用冬服仕様書

1 総則

- (1) この仕様書は、静岡市消防局が購入する消防吏員用冬服について、必要な事項を定める。
 (2) この冬服に使用する材料、付属品は全般にわたって十分検査がされ、この仕様書をすべて満たすものでなければならない。

2 使用材料

表 生 地

区 分		規 格	試 験 方 法
組 織		2 / 2 綾織	JIS L 1096
混 用 率		ウール 100% (±3%以内) 導電性繊維入り	JIS L 1030
番 手	経	2 / 58 (±5%以内)	JIS L 1096
	緯	2 / 58 (±5%以内)	
密 度 (10cm間)	経	300本以上	JIS L 1096
	緯	260本以上	
質 量		240g/m ² (±5%以内)	JIS L 1096
引 張 強 さ	経	390N以上	JIS L 1096 ラベルトストリップ 法
	緯	320N以上	
寸法変化率		経・緯とも±3%以内	JIS L 1096 C 法
伸 長 率		緯 6%以上	JIS L 1096 8.14 1B
ピ リ ン グ		4級以上	JIS L 1076 A 法 10 時間
染色堅牢度	耐 光	4級以上	JIS L 0842 照射 40h
	洗 濯	4級以上	JIS L 0844 A - 1 号
	汗	4級以上	JIS L 0848 B 法
	摩 擦	4級以上	JIS L 0849 II 形
摩擦帯電圧		1500V以下	JIS L 1094
撥 水 度		初期5点・ドライ4点以上	JIS L 1092
色 相		H9.0B V2.3 C0.9 同等 ΔE00 0.5以内	JIS Z 8781-6 日立製 UH3900S

3 付属材料

(1) 上衣

区 分	規 格	使用箇所
芯 地	再生ポリエステル50%以上	前身頃、見返し、雨蓋、 向宛布、ポケット口布、 襟、袖口
袋 地	再生ポリエステル50%以上	ポケット袋布
増 芯	フェルト芯	胸上部
裏 地	ポリエステル100% (再生50%以上) 紺色タフタ	前身頃、後身頃、袖裏、 雨蓋、向当布、ポケット 口布
肩綿・衿綿	衿綿含み13mm標準	肩台

釦	金足付き 20mm 6 個 練釦 15mm 3 個	前身 つり、内ポケット
小 付 属	袖章 片布 品質表示 サイズネーム 襟吊り	左右上袖 右内ポケット下部 片布下端 襟下中央 襟みつ中央
綿テープ	幅 10mm 以上	襟、袖ぐり
糸	テترون糸 50 番手 表地同系色	地縫い、ステッチ

(2) ズボン

区 分	規 格	使用箇所
マーベルト	—	腰裏
ウェスマン芯	—	腰上部芯
ゴ ム	ポリエステル 82% ポリウレタン 18% 20mm、25mm、30mm	腰裏
袋 地	再生ポリエステル 50% 以上	ポケット
不 織 布	—	前立、天狗、ポケット
膝 当	—	前身頃膝裏
釦	練釦 15mm 2 個	上前マーベルト 後ろポケット
小付属	前カン ファスナー 片布 品質表示 サイズネーム	ウェスマン 前立 上前脇ポケット袋布 片布下端 片布下端
糸	テترون糸 50 番手 表地同系色	地縫い、ステッチ

4 型式（概要図参照）

(1) 上衣

ピークドラペル、ダブル左前 2 ツ掛け 6 釦、左胸箱ポケット、左右腰雨蓋付き両玉縁ポケット、左右袖口袖章付き、右胸に階級章用台座、背抜き仕立て

(2) ズボン

ウェスマン付きワンタック、脇斜め切り替えポケット、左右後方片玉縁ポケット（左ポケットは釦止め）、前ファスナー、天狗釦止め、ベルトループ 8 本、裾シングル仕立て、腰廻り伸縮（拡張式）とする。

5 縫製（概要図参照）

(1) 全般

各部の縫合は、優良で縫い代が適当であること。

縫い目のトビ、ハズレがないこと。

糸調子は、縫い目が優良で縫い曲がりがないこと。

針数は、3cm 間で地縫い及び飾り縫いは 13 針以上、オーバーロックは 8 針以上とする。

(2) 上衣

区 分	縫 製 要 領
前身頃	左右にダーツ縫いのダブルブレストッドの6ツ釦両前2ツ掛けとし、第1釦20mm広げる。
前身頃穴及び釦	上前身頃に2個の鳩目穴をかがり、前端より125mm脇側に2個と上の釦より斜め上に1個飾り釦を付ける。下前身頃に上前身頃と同様に釦を付け、つり布の止め釦を襟下に付ける。
胸増芯	パス芯及びフェルトで肩くせを取り、型崩れのないようにし、千鳥ミシン刺しとして返り線にストレートの接着テープを縫い付け、ルイスミシン縫いをする。
裏	背裏仕立てとし、前身頃は胸ダーツを地縫い片倒しする。 背裏の裾は25mm幅の三つ折りにし、ステッチを掛ける。
襟及び襟付け	地襟は中心を縫い割り、バイヤスの襟芯を貼り、折り返し線に一条のミシン縫いをし、上襟両端部に芯を貼る。 上襟は見返しと地縫いをし、襟ぐりは縫い割りし、とじを入れる。 襟幅は中央で70mm、襟先で38mmとし、襟周りには6mmのステッチをかける。
襟吊り	襟吊りテープを襟中央に縫い付ける。長さは50mmとする。
左胸ポケット	左胸ダーツ止まりから上6cmの位置に、口幅120mm、深さ150mmの箱ポケットを付ける。口布25mm幅に芯を貼り、上端に幅6mmの飾りミシンで縫い付ける。 ポケット内の身頃側に消防手帳止めループを付ける。
腰ポケット	前身頃の左右腰に口幅160mm、深さ190mmの雨蓋付き両玉縁ポケットを付ける。
内ポケット	左右前身頃内側に口幅140mm、深さ200mmの両玉縁ポケットを付ける。右側はフラップ付とし、フラップ布中心に釦ホールを開け、釦止めとする。口両端にはミシンかんぬきを入れ、袋の下部は見返し縫い代に止める。
袖・袖章	袖口の折り返しに芯を貼り、袖章を左右の山袖に袖口より並行に100mmの位置を袖章の下端として付ける。 袖口は表地を40mm折り返し、裏地をのせて20mmで地縫いする。袖裏は筒縫いをし、縫い目は片倒しとし、とじを入れる。
階級章台	右胸ダーツ止まりから上5cmの位置に、縦24mm、横40mmの面ファスナー（メス）を階級章用の台座として縫い付ける。面ファスナーの色については、黒又は紺色とする。
片布	左前身頃内側に縫い付ける。 納入年度及び納入業者名を入れる。
品質表示	片布の下端に挟み縫いする。
サイズ表示	襟みつ中央に縫い付ける。
穴かがり	機械はと目穴。
縫い代	10mm以上とし、縫い糸の色相は表地と同じとする。

(3) ズボン

区 分	縫 製 要 領
前タック	左上前ファスナーあき、左右のウエストに各 1 本のタックを取り、脇側へ片倒しをする。
後ダーツ	左右に各 2 本とる。
脇ポケット	左右の脇縫い目前方20mmのウェスマン付けより25mm下がりに、口長さ180mmの斜め切り替え式ポケットを付ける。
後ポケット	左右に片玉縁ポケットを付ける。口幅150mm、深さ180mmとし、口の両端に閉止めをする。 左後ろの片玉縁ポケットは釦止めとする。
腰	腰は35mmの腰帯付とし、脇縫い箇所の後身側の腰帯下に前身側の腰帯が入るようにする。腰帯内部に伸縮テープを入れ、前身側と後身側が互いに引合い、左右各25mm以上腰廻りの拡張が出来るようにする。 腰裏はマーベルトを使用し、前立側両端はそれぞれ天狗と前立の前カンの下まで入れる。 後身頃側の腰裏の下端は、脇縫いの箇所で表生地に通して閉止めする。
天狗	芯を貼り、ファスナーを付け、剣型鼻天狗釦止めとする。天狗の上がり幅は35mmとし、前立は幅35mmから37mmでミシン縫いする。
膝当	前身頃腰上端より膝下約100mmまで通し生地を付け、両脇は表地と共にオーバーロックかがりをする。裾に耳を使用しないときは、三巻き縫いをする。
脇縫い	上端から脇ポケット口下までは、30番糸又は50番糸の環縫い（チェーンステッチ縫い）とし割る。
内股縫い	内股膝線まで二重縫い又は環縫い（チェーンステッチ縫い）とし割る。
シック	25mm幅の天狗からの続きシックとし、縫い代に止める。
ベルト通し	幅10mm、長さ使用部分で45mmのベルト通しを 8 本付ける。（内、1 本は前立てより20mmのところに付ける）
裾	シングル折り込み 70 mm以上とする。
門	ポケット及び小股門ミシン入れとする。
片布	腰ポケット袋地へ縫い付ける。 納入年度及び納入業者名を入れる。
品質表示	片布の下端に挟み縫いする。
サイズ表示	左上前ファスナーに挟み縫いする。

(4) 仕上げ

釦付けは生地及び使用個所に適した糸で根巻きをしっかりとすること。

（機械付けする場合の糸の強度は、手付けと同程度とする。）

小じわ、プレス不足がないようにすること。

プレスによる当たり（襟、ラベル、フラップ）に注意し、テカリ及び焦げ等がないこと。

糸くずを残さない等、糸の始末を完全にすること。

(5) その他、概要図のとおりとする。

6 寸法表

下表を基準とし、袖丈や股下は、消防局職員の希望に合わせて、長短の調整をすること。

(1) 上衣

(単位：cm)

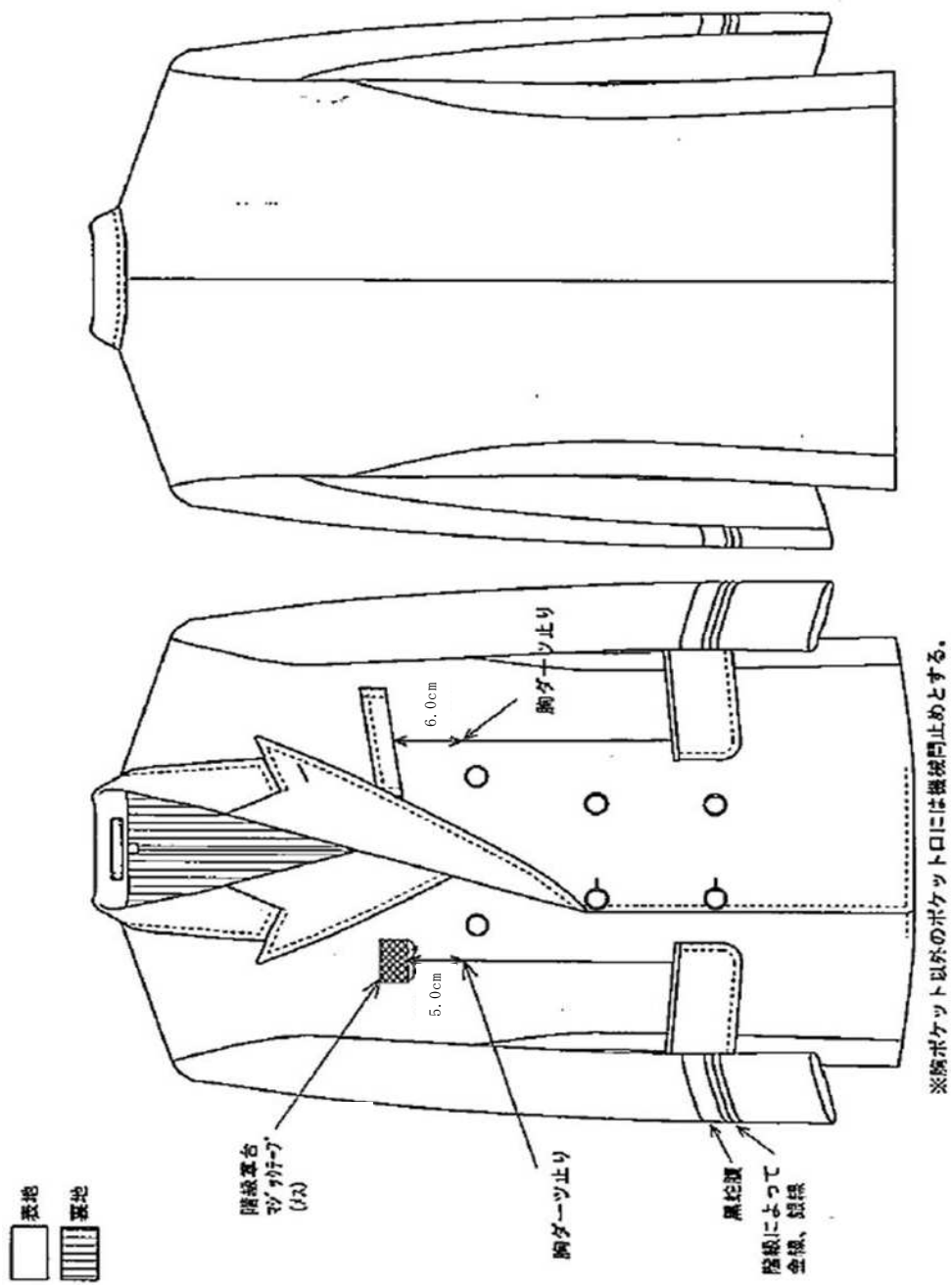
	号数	肩幅	着丈	袖丈	胸囲
普通 体	1号	43	68	54	100
	2号	44	69	55	102
	3号	45	71	57	104
	4号	46	72	58	108
	5号	47	74	60	112
	6号	48	76	61	115
	11号	49	78	63	119
肥 満 体	7号	46	69	54	110
	8号	47	71	57	113
	9号	48	73	59	117
	10号	49	75	60	121
	12号	50	77	62	125
許 容 差		±1.0以内	±1.0以内	±1.0以内	±1.0以内

(2) ズボン

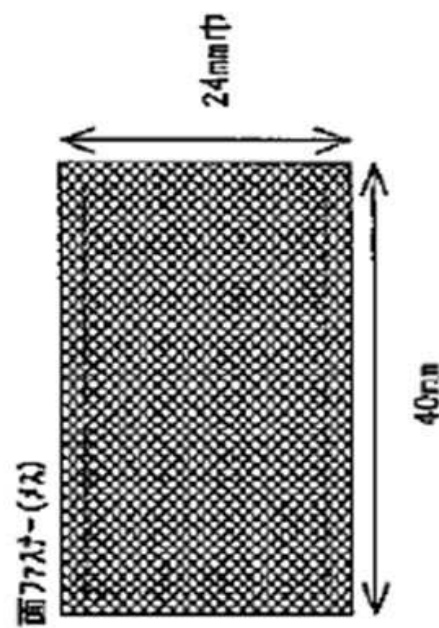
(単位：cm)

	号数	ウエスト	ヒップ	ズボン丈	股下
普通 体	1号	73	96	91	66
	2号	77	99	94	68
	3号	80	101	97	70
	4号	82	103	98	71
	5号	85	105	102	74
	6号	88	107	105	76
	11号	91	109	108	78
肥 満 体	7号	86	106	95	67
	8号	91	110	99	70
	9号	96	114	102	72
	10号	102	118	104	74
	12号	106	122	106	76
許 容 差		±1.0以内	±1.0以内	±1.0以内	±1.0以内

概要図

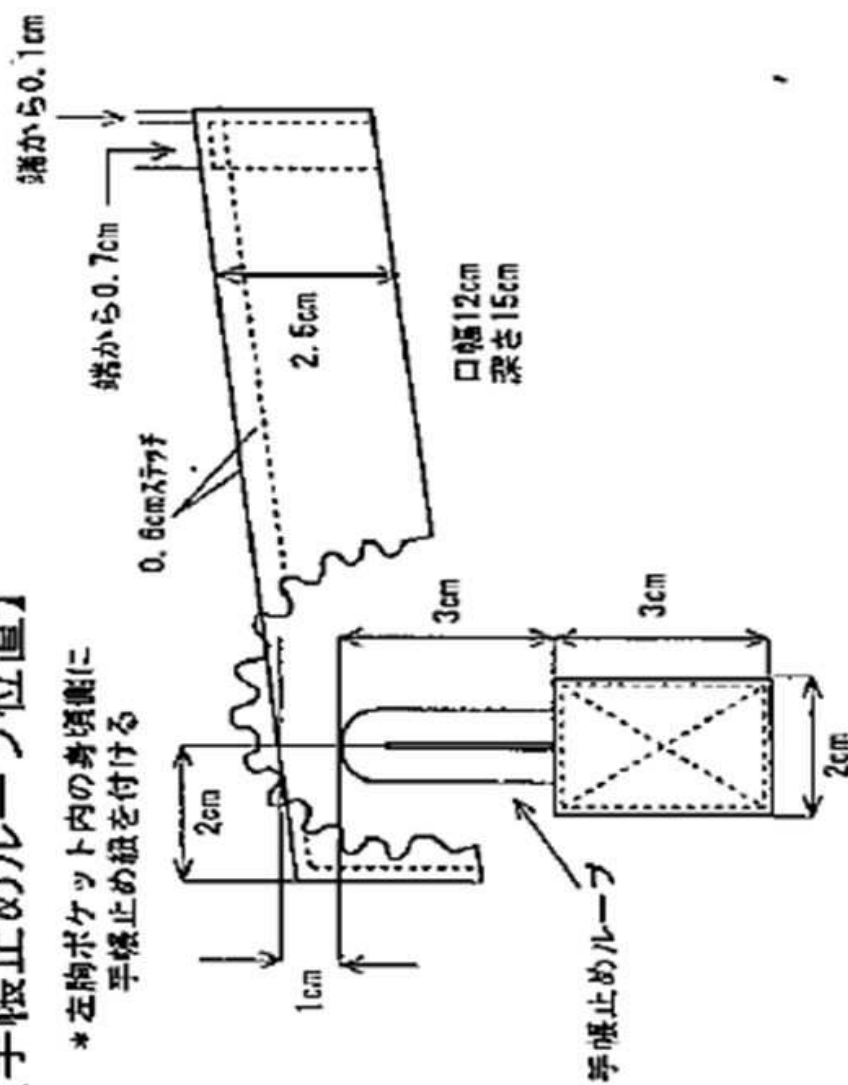


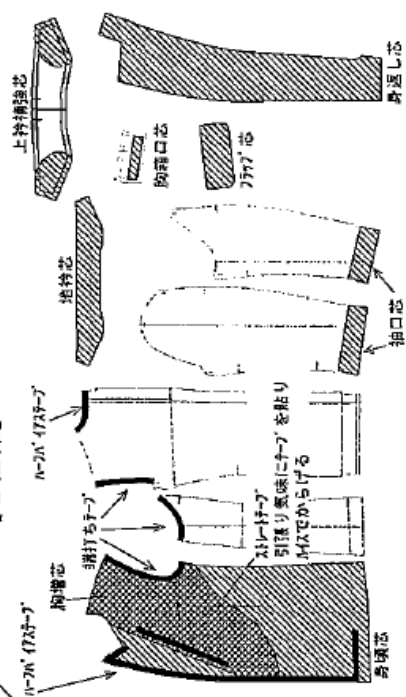
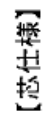
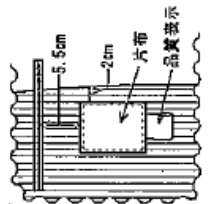
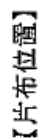
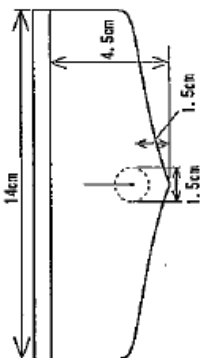
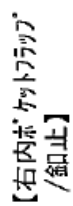
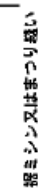
【階級章台(右胸)】



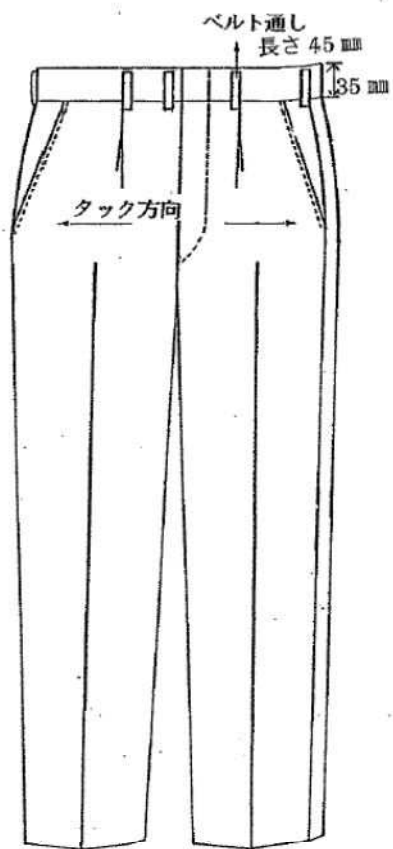
【手帳止めループ位置】

* 左胸ポケット内の身頃側に
手帳止め紐を付ける

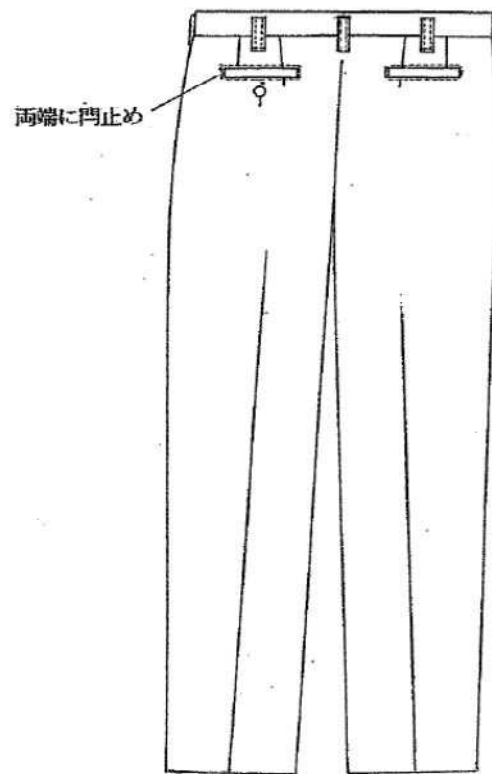


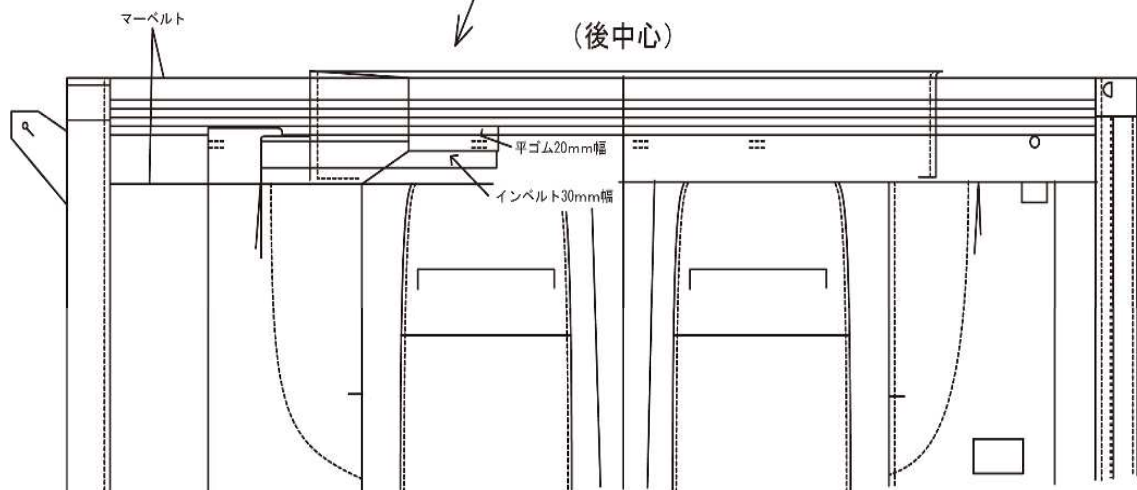
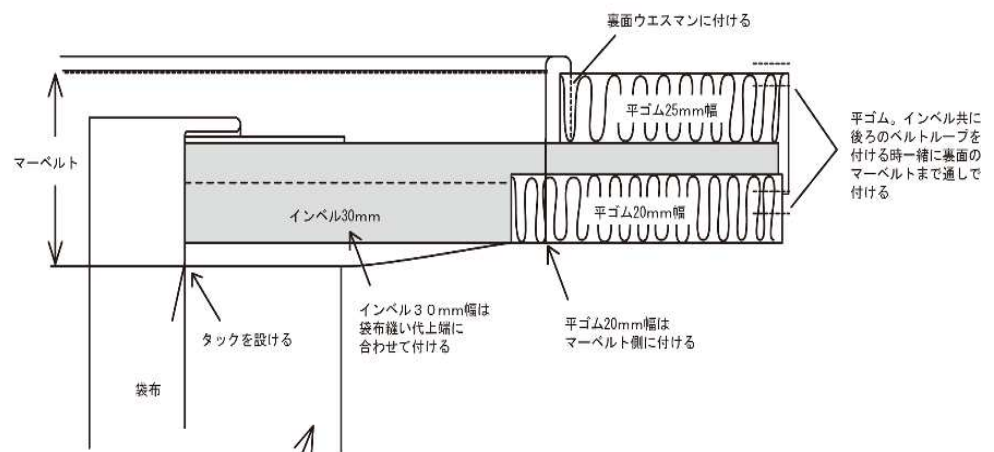
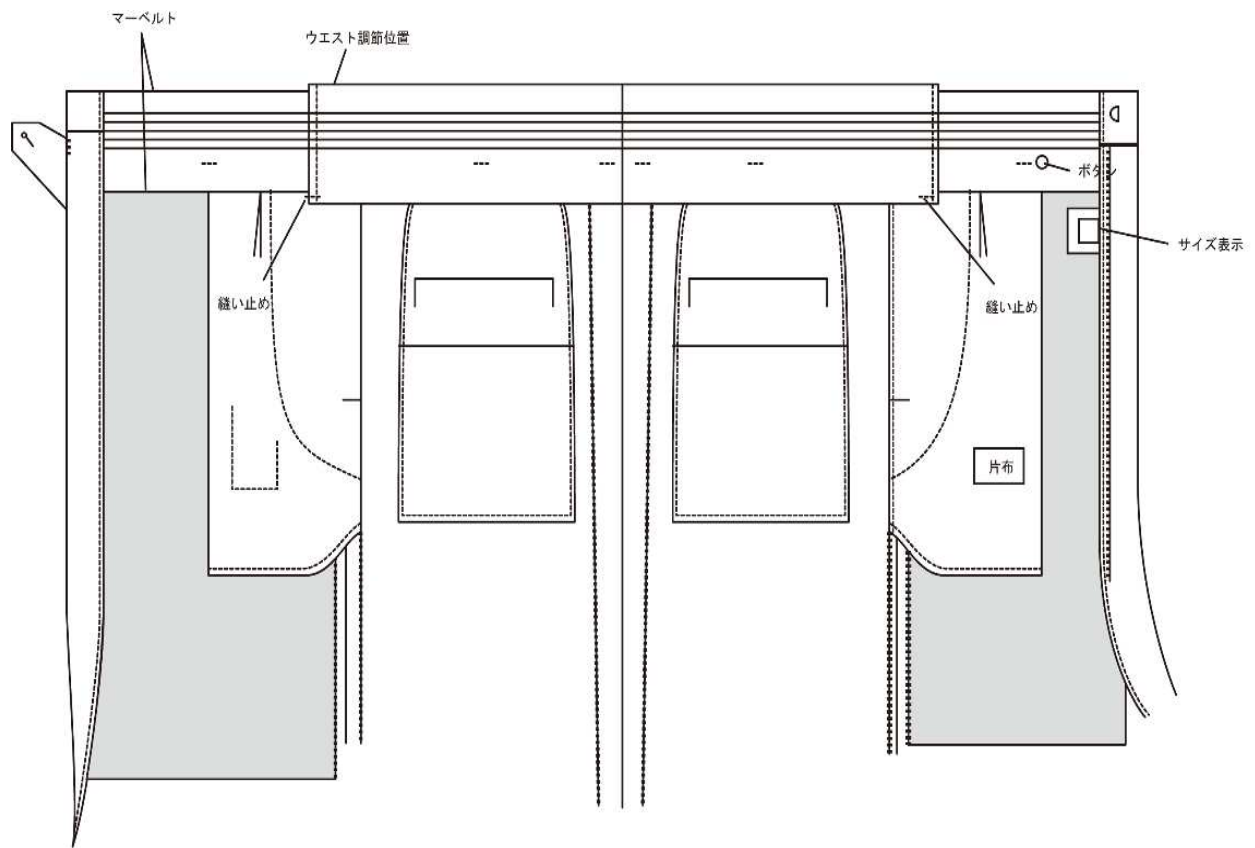


<前 面 図>

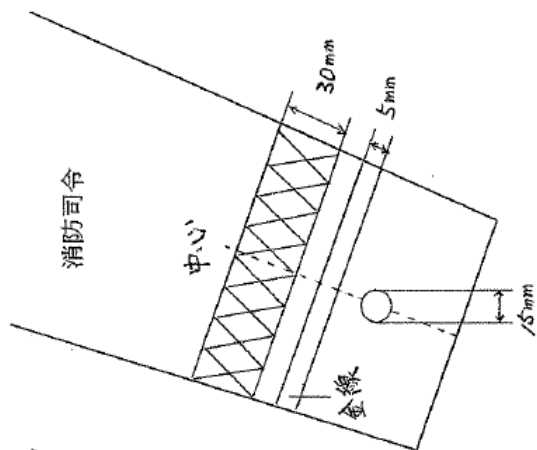
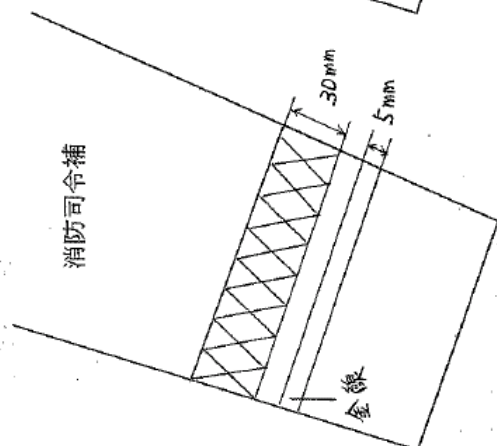
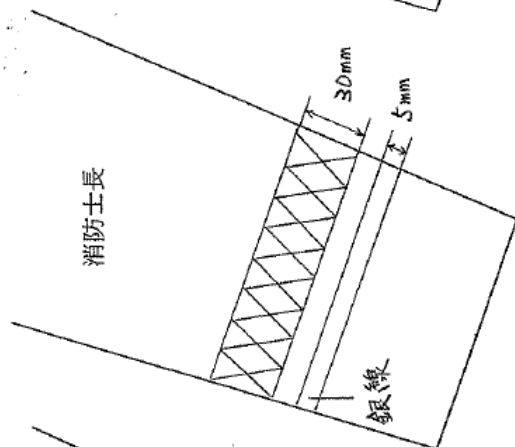
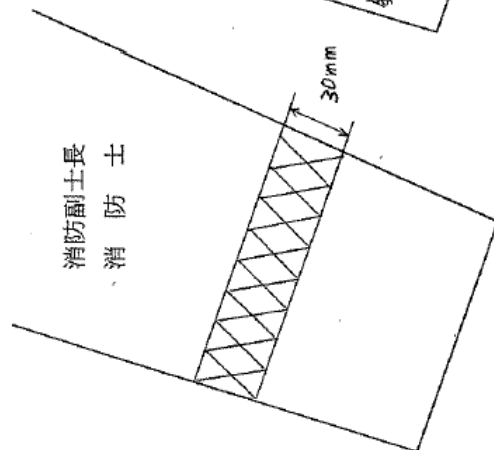
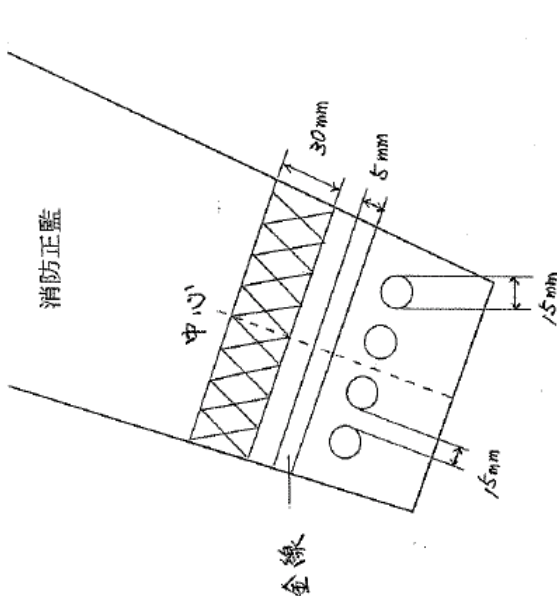
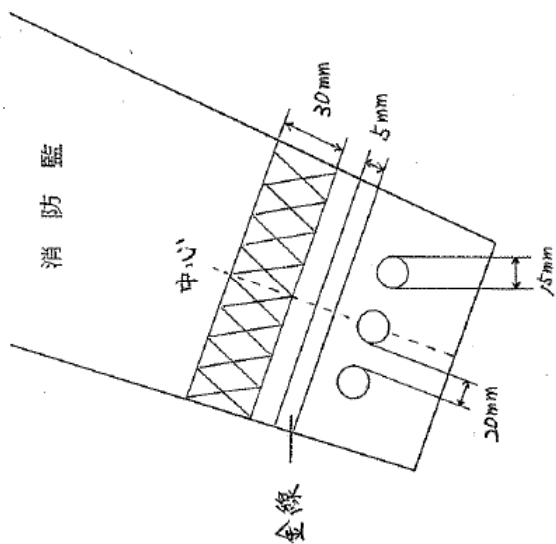
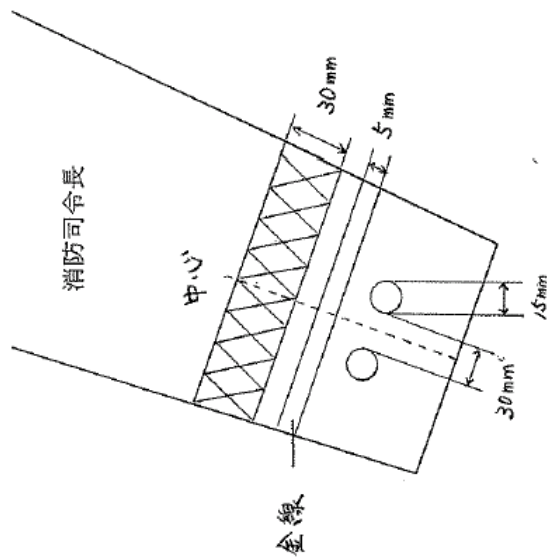


<後 面 図>





消防吏員用冬服の袖章

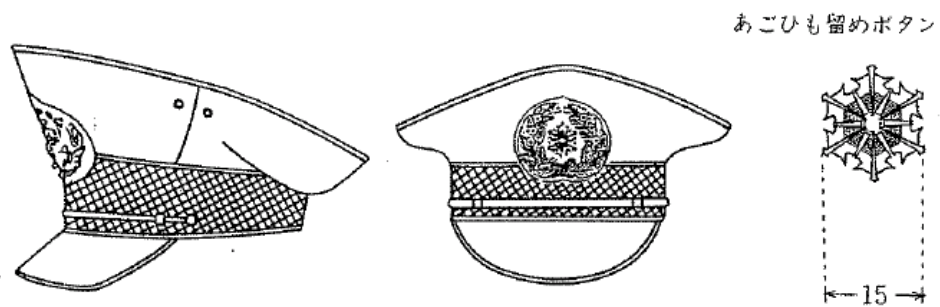


別紙 2 消防吏員用冬帽仕様書

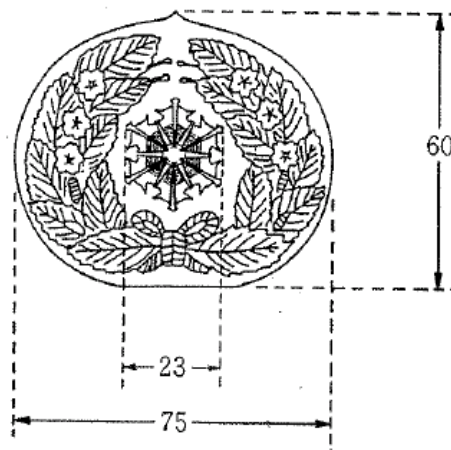
- 1 使用生地 消防吏員用冬服表生地と同じとする。
- 2 色 濃紺色
- 3 型 式 丸帽 別図のとおり
- (1) 裏生地 天井及びマチの部分に黒綿繻子を使用、天井前面にビニールをマチ前面の裏地に不織布芯地を縫い付ける。
- (2) 腰 枠 ポリフォームで通風口を付ける。
- (3) 汗取り デラクールで通風口を付ける。
- (4) 底 黒ビニール製（表艶つき裏しぼり）
- (5) あごひも 黒艶付きビニールレザー 芯疑皮
- (6) あごひも 留めボタン あごひもの両端を金色金属消防章（ネジ式）各 1 個で止める。
- (7) き 章 銀色金属製消防章をモール製金属桜をもって抱くようにしたものを付ける。
形状及び寸法は別図のとおり。
- (8) 周 章 帽の腰周りには、黒色のななこ織を巻く。
消防司令以上は、じゃ腹組金線及びじゃ腹組黒色線を、消防司令補は、じゃ腹組黒色線を巻く。
形状及び寸法は、別図のとおり。
- (9) 天張り 銅線入りビニールパイプ
- (10) 前 立 銅線板をビニールで覆ったもの。
- (11) その他 ネーム紙を付ける。
腰下辺に玉を付ける。
空気抜きとして各側面に鳩目 2 ヶを付ける。

(単位mm)

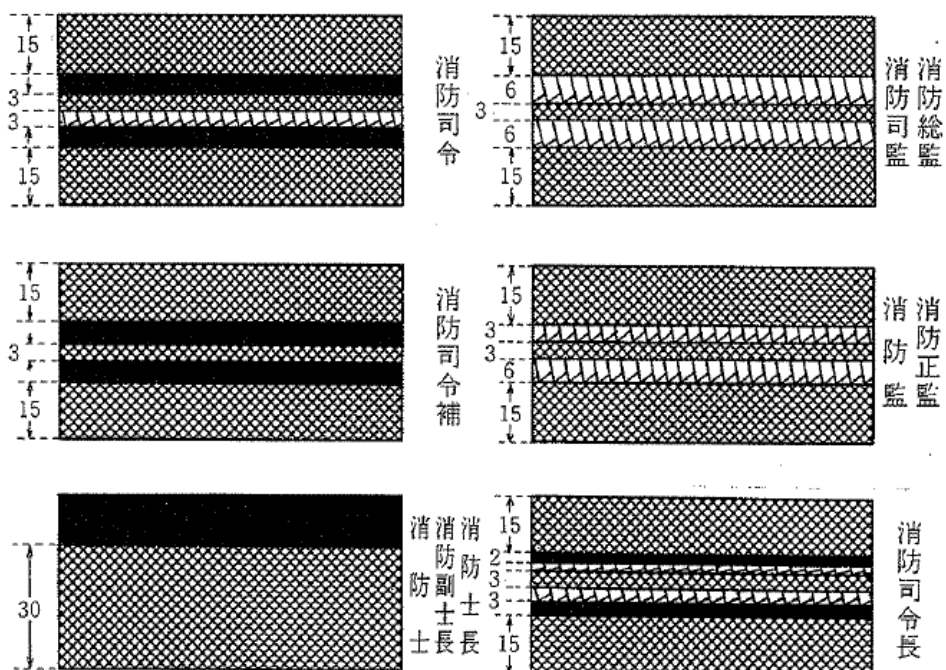
冬帽及び夏帽



き 章



周 章



見 積 書

	拾	億	千	百	拾	万	千	百	拾	円
金額										

(消費税及び地方消費税相当額を除いた金額)

ただし、

消防吏員用冬服（新規採用者用）

その他仕様書のとおり

見積心得を承諾の上、見積りいたします。

令和 年 月 日

課税業者 免税業者（該当に○）

所在地（住所）

名 称

代表者職氏名

印

(宛先)

静岡市長